



学校だより

11月号

平成30年 11月 1日
さいたま市立植竹小学校

〒331-0813 さいたま市北区植竹町2-1

TEL 048-663-7627

FAX 048-663-9885

E-mail uetake-e@saitama-city.ed.jp

児童数 1年97名・2年123名・3年139名・4年115名・5年136名・6年125名・7組20名 計755名

学校教育目標

○すすんでまなぶ子

○たすけあう子

○げんきな子

凡事徹底

教頭 板東 浩之

子どもたちが下校した後、校舎内を点検のために見回ることが私の日常の業務の一つですが、毎日必ずよく見ておこうと思っている場所があります。それは、子どもたちのげた箱です。ぬいだ上履きが行儀よくかかとをそろえて、きちんと上の段にしまってあります。毎日よく観察すると、いつでも同じようにしている子どもがたくさんいることに気が付きます。



(すべての子ができるまでにはいたっておりませんが…)「くつのかかとをそろえること＝心をそろえること」これは、私自身が子どもの頃に親や先生をはじめとする身近な大人たちに言い聞かされたことであり、教師になってからも先輩教師からないがしろにするなど教わったことであります。



いつでもぬいだくつのかかとをそろえることが習慣になっている子どもは、「自分がやるべきことに、真面目にひたむきにあたる人なのではないかな。」「正直な行いをする人なのかもしれないな。」と私は想像します。

さて、『凡事徹底』という言葉があります。「当たり前のことをきちんとやり続ける」という意味の言葉ですが、日常生活の中で当たり前のことってどんなことでしょうか。くつのかかとをそろえることの他にも、進んであいさつや返事をする、人の話を目を見てしっかり聞く、身の周りの整理整頓をする、時間を守る、約束を守る、ごみが落ちていたら拾う、席を立ったらイスを入れる、毎日ハンカチを持ってくるなど、たくさんの凡事が浮かんできます。小さなことの徹底は、実は大きなことの達成につながっています。いろいろなことが整ってくると、見た目だけでなく、気持ちもすっきり落ち着いてくるものです。そうすることで、新しいことや難しいことに挑戦する気持ちも高まってきます。今あげたものは自分自身のことですが、周りの人との関わりの中では、友達と仲良くする、相手の気持ちを考える、人の嫌がることをしない、意地悪をしないなどが凡事としてあげられると思います。周囲の人に向けた凡事も大切です。

さいたま市では、各学校において、「心を潤す4つの言葉」の取組を実施しています。

- 「おはようございます」(元気よくあいさつをしましょう)
- 「はい」(しっかりと返事をしましょう)
- 「ありがとうございます」(感謝の気持ちを表しましょう)
- 「ごめんなさい」(素直な気持ちを表しましょう)

これらも子どもの心を育てる上で大切にしたい基本的なことです。

本校では、今月に「心を潤す4つの言葉推進週間」を設けて、学校生活や登下校時に笑顔で気持ちよくあいさつや返事をする、心をこめた素直な言葉を交わすことを重点として取り組んでまいります。



人の価値観によって「当たり前の定義」は違ってくるのではないかと思います。人間として生きていく上で普遍的なことについて考えてみることは大事なことです。私たち教職員も『凡事徹底』を肝に銘じて教育活動に専念してまいりますのでご家庭においてもご配慮いただければ幸いです。

